

Q. 吹屋小学校保存修理のための財源確保を

A. 入場料の徴収は保存修理後に行く



ここを聞きました

- 人事について
- 財源確保について
- ゴミの収集について
- 教育行政について

特別公開時に入場料を徴収してはどうか

長江 旧吹屋小学校の特別公開がされているが、その際、入場料を徴収していないと聞く。文化財でもあり、これから保存修理も計画されていると思うが、財源確保の観点からも入場料を徴収すべきではないか。

教育格差解消のための行政放送活用を

長江 行政放送を活用して教育講座を開設してはどうか。



旧吹屋小学校

教育長 今年度、山田方谷について郷土の偉人として教えていくための漫画本を小学校へ配布する。また、方谷先生についてシリーズ的なものを作り、放映していきたいと考えている。

Q. 幼年期からの読書教育の充実を！

A. 学校園と情報共有しながら読書指導を推進する



ここを聞きました

- 人口減少とこれからの市政運営のあり方について
- 読書教育の推進について
- 市立図書館のあり方について
- 駅前周辺整備について

松原学園の読書推進教育について

宮田 松原学園では、読書推進教育の一環として「おやこでよんでみよう！」という冊子を作成し、読み聞かせを通した子どもたちへの読書習慣の定着と、親子のふれあいを実践している。幼年期読書教育の推進は、子どもたちの成長と円滑な親子関係の醸成にとって有効な取り組みであると考えている。こうした観点から、教育委員会が主体となって全市的に読書推進教育を推進すべきではないか。

教育長 提言いただいた件も含めて、各学校園と情報を共有しながら読書指導を推進していきたい。



おやこでよんでみよう

市立図書館の建設について

宮田 図書館建設については、予算が可決されたにもかかわらず具体的な説明がない現状であるが、これをどのように捉えているのか。

教育次長 性急に事を進めるがゆえに説明が不十分であった部分もあり、そうした点を反省しながら予算執行ができるよう努力する。

Q. 市街地での公共事業の見直しを

A. 公共事業は市街地に集中していない



ここを聞きました

- 合併 10 年を迎えるが、市民の現在の暮らしぶりや、今後について問う
- 水道料金の引き下げを求める
- 図書館建設の再考を求める

大型公共事業より、市民の声を聞いて

石部 市街地での大型公共事業が連続して計画されているが、合併後10年で市民の暮らしはどうなったのか。市長が出向いて市民の声を聞く懇談会やアンケートを計画してはどうか。

政策監 講演や意見交換は行って

いる。市民の声を行政に生かしていきたい。

市長 公共事業は市街地に集中して

いない。市全域を見て優先順位をつけながら行っている。

ることであるので引き下げはできないか。また、消費税の値上げに伴う引き上げは行うべきでない。

産業経済部長 成り立ちによって

料金に差があり、統一に向けて調整中である。消費税については転嫁していない。

図書館建設の再考を求める

石部 図書館の建設が先行し、運営や内容についての議論が行われていない。将来を見据えた図書館計画を再考すべきではないか。

教育次長 教育委員会として原点に返り検討し説明したい。

副市長 執行部としては駅周辺で進め理解を得たい。

石部 事務方、執行部で意思疎通ができていない。図書館機能のあり方や将来の方向性を考えて進めてほしい。

Q. 予算不足で町内会の維持管理が困難

A. いろいろな角度から研究したい



ここを聞きました

- 安心・安全のまちづくりについて
- 地域振興について
- 空き家対策について

安心安全のまちづくりについて

倉野 消火栓と器具の維持管理はどうなっているのか。

消防長 消火栓管理は消防署で行っているが、器具については地元管理となっている。

倉野 器具のボックスやホースの更新には補助が出るが、町内会会計での更新には無理があるので、市で対応できないか。

消防長 地元要望で設置した器具については、地元で対応いただきたい。

地域振興について

倉野 納税組合廃止により町内会の活動収入が減少している。このままでは町内会の維持が難しくなるのではないか。

市長 コミュニティの維持については、いろいろな角度から研究していきたい。

空き家対策について

倉野 市内の空き家は年々増加している。その対策として、仏壇や位牌を市で管理することができないか。

また、空き家の使用に関して、親族に意向調査を実施してはどうか。

市長 早急にはいいかないが、今後研究していきたい。



消火器具とボックス